

2. 黒毛和種雄牛の産肉能力検定（間接法）成績

（種山牧野事務所）

本検定は全国和牛登録協会和牛種雄牛産肉能力検定により、実施した兵庫県産および鳥取県産の種雄牛8頭の成績である。

(1) 背景とねらい

本県では、これまで8頭の黒毛和種雄牛について産肉能力検定（間接法）を実施した。兵庫県産の安美金・房・森正・恒徳及び磐城、鳥取県産の寿高・盛気高及び裕徳である。増体量、飼料効率及び肉量、肉質を調査した同検定成績を繁殖計画、肥育計画樹立のための参考に供す。

(2) 技術の内容

1) 検定成績結果による種雄牛の特徴

種雄牛	系 統	優 点	欠 点
寿 高	気 高	コース芯面積、DG、体積	背脂肪厚、枝肉歩留
安美高	田 尻	枝肉歩留	DG、体積
房	奥 城	コース芯面積（背脂肪厚）	脂肪交雑、枝肉格付、DG
森 正	田 尻	コース芯面積、脂肪交雑、枝肉格付	DG、体積、飼料効率
恒 徳	田 尻	脂肪交雑、枝肉格付、コース芯面積	飼料効率、DG
盛気高	気 高	DG、体積、飼料効率、枝肉格付	コース芯面積、枝肉歩留
裕 徳	東 豊	体 積	飼料効率、DG、脂肪交雑、コース芯面積
磐 城	茂 金	枝肉格付、脂肪交雑、DG、枝肉歩留	背脂肪厚

2) 発 育

終了時体重は、寿高、盛気高、裕徳の鳥取県産が優っている。兵庫県産では、磐城が前者に劣らず大きい。1日当り増体量は寿高、盛気高及び磐城が高く、それぞれ、0.88 Kg、0.87 Kg及び0.84 Kgであった。

3) 飼料の摂取量及び飼料要求率

濃厚飼料の摂取量は2,197（安美金）～2,695 Kg（裕徳）であり、鳥取産が多い傾向にある。特に裕徳の摂取量は多く、1 Kg増体に要したTDNも8.12 Kgと高かった。1 Kg増体に要したTDNが優れた種雄牛は盛気高寿高の6.55Kg、6.60Kgであった。

4) 枝肉歩留

磐城、安美金、森正が優れ、65.3%、65.2%、64.3%であった。兵庫県産の房及び鳥取県産の盛気高、寿高は、62%台と低かった。裕徳は、肥育度指数が高く、鳥取産の中では高い値（63.2%）を示した。

5) 脂肪交雑

兵庫県産では、恒徳、森正及び磐城が優れ、それぞれ+3.8、+3.4、+3.4であった。

6) 枝肉格付および枝肉単価 目標 「並」の上(脂肪交雑0.5) 1,400円

枝肉格付の良否に大きな影響およぼす脂肪交雑は0.4であった。脂肪交雑は遺伝率の高い形質であるから間接検定のデータ等を参考に素牛を導入すべきであろう。

枝肉単価の平均は1,319円であり、若干九酪が高かった。

7) 正肉歩留 目標 74% 42.9%(生体に対する)

正肉歩留は75.6%(生体に対する正肉歩留43.4%)であり、目標を上回った。正肉歩留は出荷体重、枝肉重量との関連はほとんどなかった。

8) 精肉歩留 目標85% 62.9%(枝肉に対して)36.5%(生体に対して)精肉歩留

の平均は84.2%であり、目標を下回ったが、正肉歩留が目標を上回ったため、枝肉に対する精肉歩留は63.8%で目標を上回った。また出荷時体重に対する精肉歩留は36.7%で目標とほぼ同じである。

(3) 指導上の留意事項

1) この成績は、8.9.10月の3ヶ月間の中間成績である。

2) 出荷時体重は、畜産流通センター着体重である、農家からの出荷時体重はこれに2~3%程度加えてやると良い。

3) 試行期間に出荷された牛は大部分が濃厚飼料を多給されたものと推察される。

(4) 当該事項にかかる試験研究課題名 なし

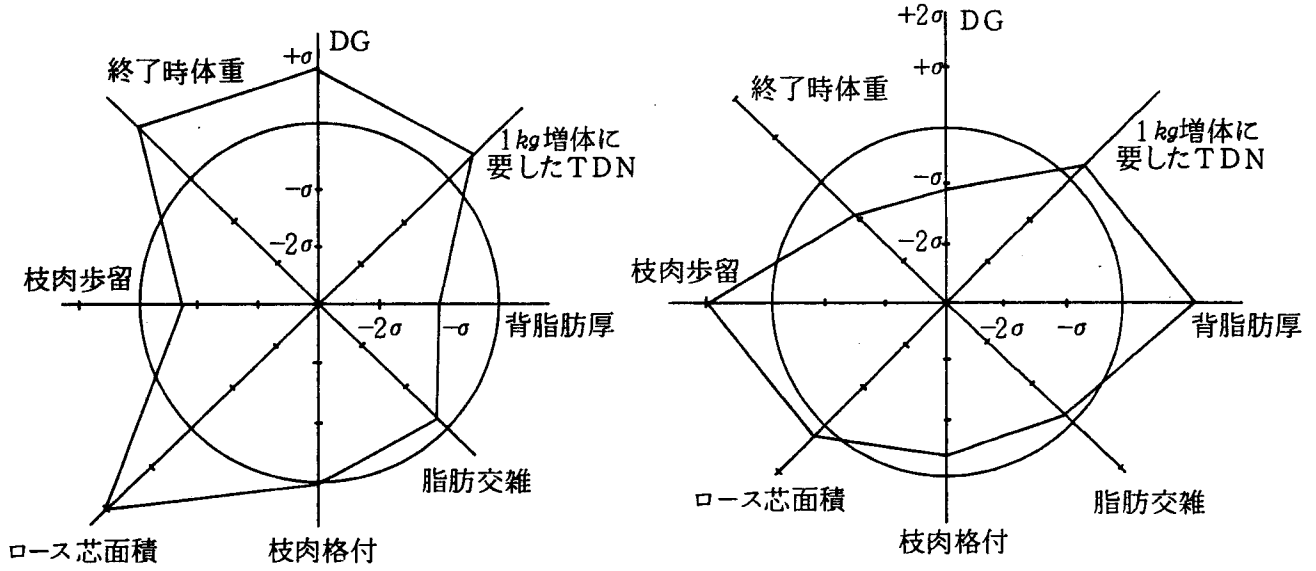
(5) 参考文献 なし

表1. 産肉能力検定(間接法)成績

		頭数又は セット数	完了年度	開始時 体重	終了時 体重	終了後 日令	DG	濃厚飼料
岩 手 県	寿高	7頭	54	271.7Kg	590.3Kg	628.1日	0.88Kg	2,522Kg
	安美金	8	55	253.0	530.7	627.8	0.76	2,197
	房	7	55	260.3	541.8	642.0	0.77	2,257
	森正	7	56	253.7	537.7	634.9	0.78	2,460
	恒徳	8	56	264.2	547.5	640.6	0.78	2,570
	盛気高	8	56	258.3	576.0	622.9	0.87	2,534
	裕徳	8	57	286.4	564.8	634.8	0.76	2,695
	磐城	8	57	264.5	571.4	623.8	0.84	2,602
計又は平均		8セット		264.0	557.5	631.9	0.81	2,480
全 国		190	51~56	254.0	552.5	627.6	0.82	2,347

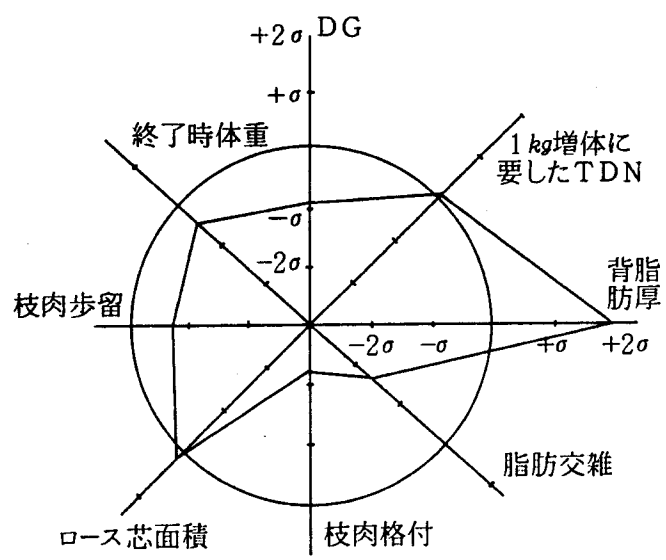
粗飼料	1Kg増体に 要したTDN	屠殺前 体重	枝肉量	枝肉歩留	脂肪交雑	ロース芯 面積	背脂肪	総合判定
627kg	6.60Kg	566.0Kg	356.3kg	62.9%	3.0	56.6cm ²	21mm	114
691	6.81	503.6	328.3	65.2	3.0	48.8	24	109
652	6.85	513.0	322.9	62.9	2.3	48.6	9	104
572	7.16	511.1	328.4	64.3	3.4	53.6	18	111
560	7.43	522.3	331.1	63.4	3.8	50.3	17	111
563	6.55	542.5	340.8	62.8	3.4	42.4	16	111
191	8.12	528.4	333.9	63.2	2.9	43.6	18	100
569	6.95	532.9	348.0	65.3	3.4	49.1	17	115
616	7.06	527.5	336.2	63.8	3.2	49.3	18	109
762	6.94	523.5	334.0	63.8	3.1	48.0	17	

図1 全国平均から見た各種雄牛成績

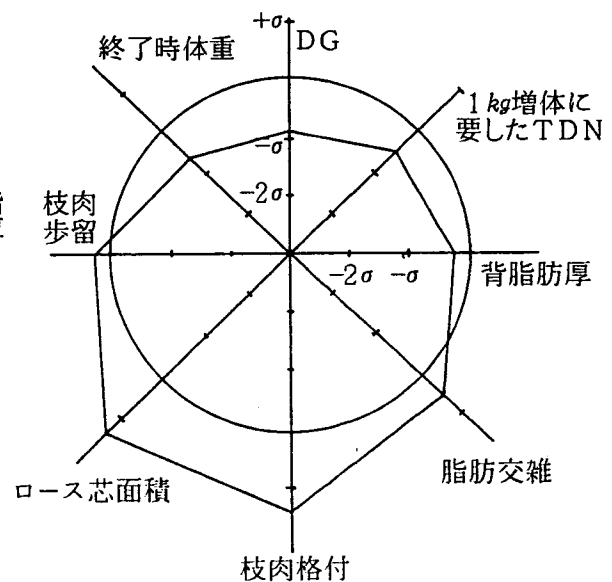


寿高 { 優點：ロース芯面積、DG体積
 欠点：背脂肪厚、枝肉歩留

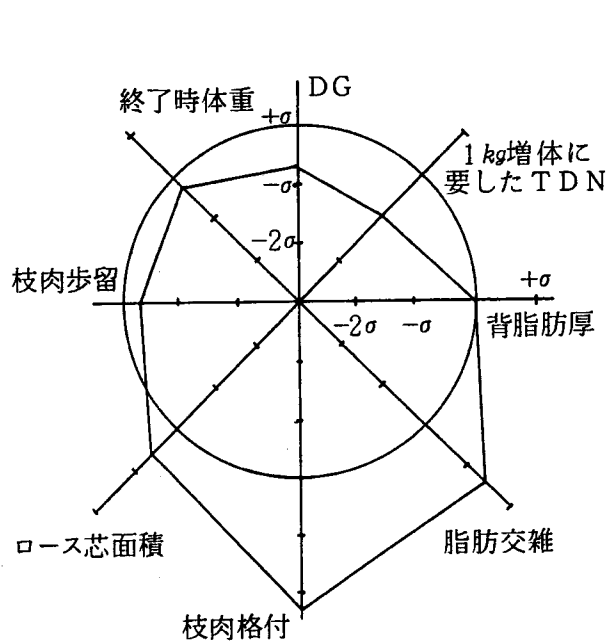
安美金 { 優點：枝肉歩留
 欠点：D.G.体積



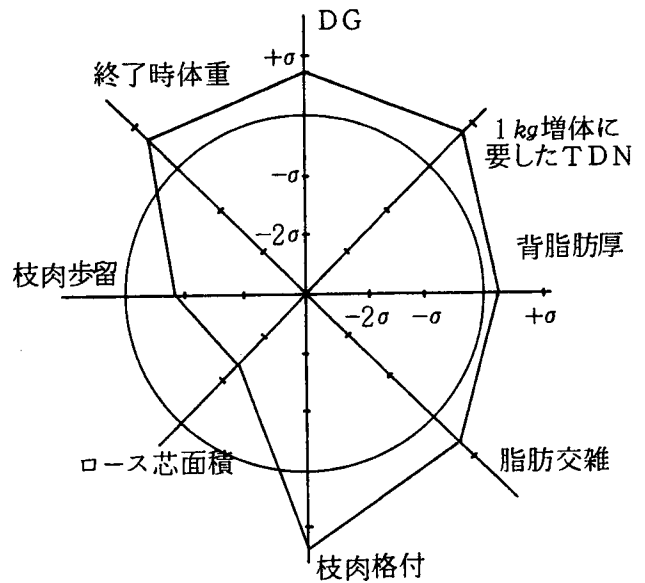
房 { 優點：ロース芯面積 (背脂肪厚)
 欠点：脂肪交雑、枝肉格付、DG



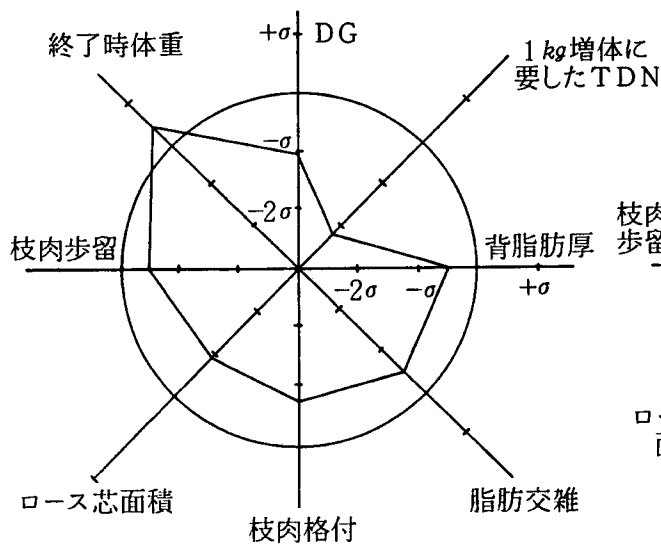
森正 { 優點：ロース芯面積、脂肪交雑、枝肉格付
 欠点：DG、体積、飼料効率



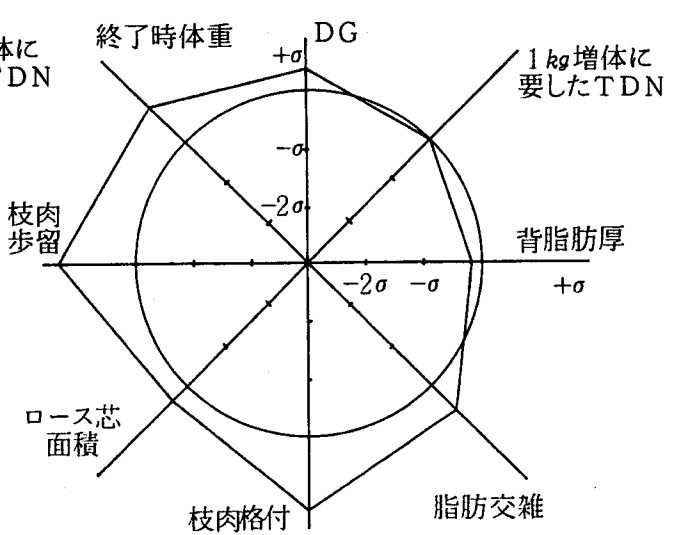
恒徳 { 優點：脂肪交雑、枝肉格付、ロース芯面積
 欠点：飼料効率、DG



盛気高 { 優點：DG、体積、飼料効率、枝肉格付
 欠点：ロース芯面積、枝肉歩留



裕徳 { 優點：体積
 欠点：飼料効率、DG、脂肪交雑、ロース芯面積



磐城 { 優點：枝肉格付、脂肪交雑、DG、枝肉歩留
 欠点：背脂肪厚